

全国から「骨」好き集結



骨格標本に触れ、熱心に観察する子どもら
＝静岡市清水区の清水マリンビル

「ホネホネサミット」開幕

全国の骨格標本づくりの団体や愛好家が集う「ホネホネサミット」が19日、静岡市清水区の清水マリンビルで始まった。20日まで。多種多様な標本が一堂に会し、来場者を魅了した。静岡での開催は初めて。

清水区 標本に触れて魅力体験

脊椎動物や魚類、鳥類などの骨格標本のほか、剥製や骨格レプリカなどが並んだ。出展者は骨格の比較展示や各部位の役割について解説し、来場者は骨格標本などに実際に触れながら、熱心に観察した。

県自然史博物館ネットワークのメンバー有志でつくる「駿河ほねほね団」の高山達子副団長は「全国の骨好きたちによる珍しい展示品も多数ある。普段は触れる機会の少ない骨の世界を楽しんで」と語った。

20日午前11時から、ふじのくに地球環境史ミュージアムの西岡佑一郎准教授（古脊椎動物学）による講演も開かれる。骨の観察方法を紹介するほか、来場者が持ち込んだ骨や化石の鑑定も行われるという。

（社会部・鈴木紫陽）

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①写真の子どもが触れているのは何ですか。漢字4字で書きましょう。
- ②記事の「ホネホネサミット」には、どんな人たちが集まりますか。
- ③この「ホネホネサミット」に来場した人たちはどんな様子でしたか。
- ④「ホネホネサミット」の魅力の記事から読み取って30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

骨	格	標	本
---	---	---	---

（例）

- ・ 普段は触れる機会の少ない骨の世界を楽しむことができる。（27字）
- ・ 骨格標本などに直接触れながら、観察することができる。（26字）
- ・ 来場者が持ち込んだ骨や化石の鑑定も行われる。（22字）

など

年 組 名 前